

第4回 肉用鶏の衛生水準の向上等に関する検討会 資料 (株)ウェルファムフーズ 橋本信一郎

カンピロバクターの自主検査

	頻度	分類	方法	方法の説明
食鳥 処理場	週1回 以上	定量法	Tempo [®]	ビオメリュー社，最確数（MPN）法による自動化された装置，AOAC, AFNORなどで認証
農場	週1回 以上	迅速法	PicoGene [®]	ゴーフォトン社，モバイル型リアルタイム装置

- ・迅速法で陽性の場合には，盲腸内容物をカンピロバクター試験法（定性法）NIHSJ-02:2019によって検査する他，状況に応じて，外部に精密検査を依頼
- ・2024年夏に帯広畜産大学の佐々木貴正教授に送った検体（盲腸内容物）で，カンピロバクターの遺伝子型ST9025（CC1150）が報告された
- ・この遺伝子型は国内では過去にイノシシから分離されたことがある
- ・これは鶏消化管内での持続性が高くないため，すぐにいなくなった模様



24/02/06 14:38:29 011 1

鶏舎の入気口に防虫網；ハエ等の侵入を防ぐ

- 英国で、ブロイラー鶏舎で入気口に防虫網を付けたところ、カンピロバクター陽性の群が減少した



入気口

防虫網

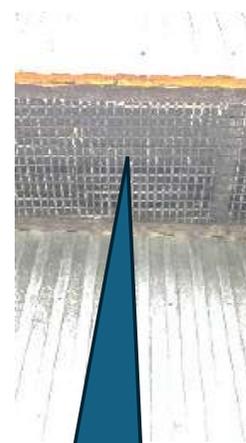
- 防虫網は長尺フィルターで、木材（たるき）を使って垂らしていた
- 地面（砂利）との隙間からテントウムシ ladybirds が入ったので、改善の要ありとの話



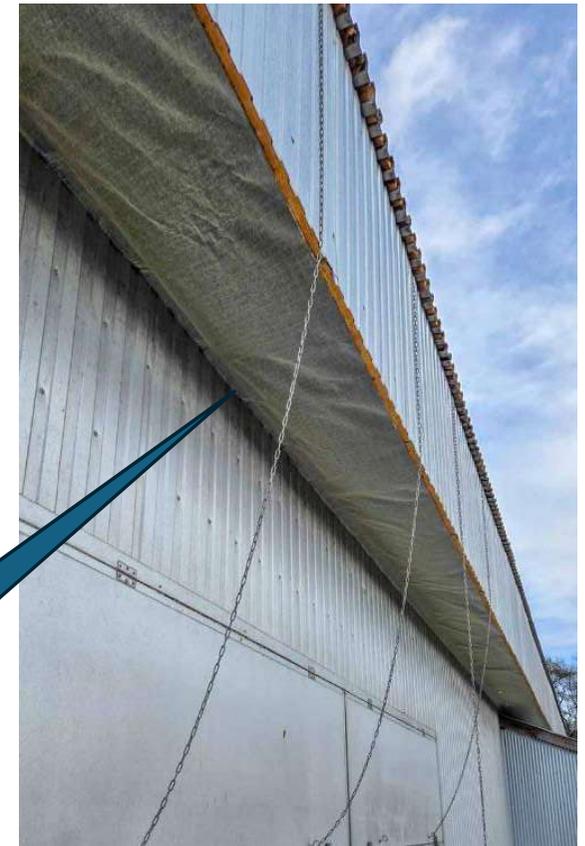
鶏舎の入気口にフィルターを設置



入気口



入気口ネット



フィルター

2024年12月，入気口（従来はネット）に
長尺フィルターを貼り付けた
カンピロバクターは9月以降継続的に陰性
季節的な要因もあるだろう